

# 土石防だより



富士市岩本山公園「梅」(富士市)

年頭の御挨拶 .....	2
2023年しずおかの砂防10大ニュース	
令和6年度 政府予算案閣議決定 .....	3
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動 .....	4
市町長等砂防関係事業県外視察 .....	5
令和5年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議を開催 ..	6
令和5年度 東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議を開催	
令和5年の土砂災害の発生状況 .....	7
諸子沢地区(静岡市葵区)の地すべり .....	8
長沢地区(浜松市天竜区)の地すべり対応	
わがまち(御前崎市) .....	9
歴史探訪 砂防法制定後の県内砂防事業	
インフォメーション .....	10
お知らせ .....	12



令和6年度 政府予算案閣議決定



全国治水砂防促進大会  
及び支部要望活動

市町長等砂防関係事業県外視察  
令和5年に発生した大規模地すべり



令和5年の 土砂災害の発生状況

全国治水砂防協会静岡県支部

# 年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部  
支部長 須藤 秀忠

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員をはじめ関係者の皆様におかれましては、日頃から当支部の活動に対し、多大なる御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国では約1,400件の土砂災害が発生し、6月上旬の台風2号では本県や和歌山県、愛知県などに、7月上旬の豪雨では西日本を中心に、9月の台風13号では千葉県、茨城県、福島県などで土砂災害により多くの被害が発生しました。

本県におきましては、台風2号などにより、計57件の土砂災害が発生し、1名の方がお亡くなりになったほか、人的被害1名、住宅被害13戸など甚大な被害が生じました。

これらの土砂災害のうち、地すべりが発生した浜松市天竜区長沢地区、静岡市葵区諸子沢地区の2箇所、がけ崩れが発生した浜松市北区細江町気賀地区については、県当局の迅速な対応により災害関連緊急事業に採択されたことから、地域住民のため早期の工事完了を期待しております。

土砂災害を防止するためには、国・県により土砂災害防止施設の整備を更に推進していくとともに、日頃から住民の防災意識の向上や、豪雨等で危険性が高まった際の実効性のある避難体制の構築が重要となります。県が進めている土砂災害警戒区域看板の設置と市町によるハザードマップの作成・配布、住民への避難情報の適時適切で確実な伝達方法の確立等により、一層充実・強化を図っていく必要があります。

令和2年度から始まった、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、「土砂災害による死者数毎年度0人」を目指し、引き続き県と連携し、地域の安全・安心を確保できるよう砂防関係事業の普及・発展に努めてまいります。会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、平穏な一年であることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

## 2023年 しずおかの砂防 10 大ニュース

### 4年ぶりに市町長等砂防関係事業県外視察を実施

8月24日(木)～26日(土)に、静岡県支部の市町長等砂防関係事業県外視察を富山県(南砺市、立山町ほか)で4年ぶりに実施し、市町長13名が参加されました。参加者からは、「砂防の重要性が一段と理解でき、来年もぜひ参加したい」などの感想をいただきました。



### 静岡市葵区杉尾地区の砂防指定地内の不適切盛土に対して、砂防指定地管理条例違反で行政代執行を実施

静岡市葵区杉尾地区の砂防指定地内に許可を得ずに盛土を造成した事業者に対し、原状回復が履行されなかったため、11月30日に行政代執行を宣言し、盛土の撤去工事を開始しました。



### 台風2号により、県内52箇所土砂災害が発生

6月の台風2号では、県内で土砂災害が52件(土石流等3件、地すべり3件、がけ崩れ46件)発生し、死者1名を含む人的被害2名、住宅被害13戸など甚大な被害が生じました。



### 土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会を開催

10月24日に「土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会」が開催され、土砂災害発生危険基準線の作成単位の細分化などが了承されました。令和6年度上半期には新しい基準線で土砂災害警戒情報を発表します。

### 台風2号で土砂災害が発生した2箇所 災害関連緊急事業が採択

台風2号により、長沢地区(浜松市天竜区)で発生した地すべり、気賀山後A地区(浜松市北区)で発生したがけ崩れに対して、災害関連緊急事業が採択されました。





# 令和6年度 政府予算案閣議決定

12月22日(金)、令和6年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比1.01倍の5兆9,537億円となり、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図っていきます。

予算のポイントの内、砂防関係事業に関するものを示します。

## 国土交通省関係予算国費

(単位：億円)

事 項	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	対前年度倍率 (A/B)
水管理・国土保全局関係予算	10,068	9,880	1.02
治水事業等関係費	8,692	8,688	1.00
河川関係	7,129	7,125	1.00
砂防関係	<b>1,393</b>	<b>1,393</b>	<b>1.00</b>
海岸関係	170	170	1.00
下水道事業関係費	1,376	1,192	1.15
社会資本総合交付金	13,772	13,805	1.00
うち防災・安全交付金	<b>8,707</b>	<b>8,313</b>	<b>1.05</b>
その他(道路・港湾等)	35,697	35,499	1.01
合 計	59,537	58,714	1.01

左記計数には、  
 (1) デジタル庁一括計上分を含まない。  
 (2) 個別補助化に伴う増分176億円を含む。

## ■ 砂防関係事業の新規制度等

### 【気候変動を踏まえた土砂災害対策の推進】

#### <土砂・洪水氾濫対策の加速化>

全国における土砂・洪水氾濫リスクの高い流域を早期に明らかにし、迅速かつ効率的な事前防災としての土砂・洪水氾濫対策を加速化させるため、都道府県における対象流域の抽出に係る支援の時限措置化や、土砂・洪水氾濫と同時に流出する流木の対策計画策定についての支援の拡充を行う。

### 【DXの推進】

#### <火山噴火に起因する土砂災害対策の迅速化>

火山噴火時における大規模で広範囲に及ぶ異常な土砂流出の脅威に対し、詳細な地形データ、シミュレーション技術等を活用して、被災範囲・社会的影響の予測を高度化することで、的確な対策選定を支援するシステムの構築を図る。

### 全国治水砂防促進大会の開催

11月16日(木)、全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催され、当支部からは12名の会員に参加していただきました。大会後には県選出国會議員と国土交通省への要望活動を実施しました。



### 「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」で全国最優秀となる国土交通大臣賞を受賞

「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」で静岡市立城内中学校の中司杏実さんが作文の部にて、国土交通大臣賞を受賞しました。3月28日に県庁で行われた表彰式において、国土交通事務次官賞1名、静岡県知事賞1名、交通基盤部長賞1名、全国治水砂防協会静岡県支部長賞4名とともに表彰しました。



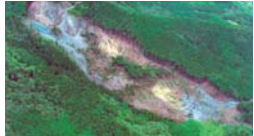
### 土砂災害防止月間中、JR静岡駅の電光掲示板に土砂災害対策の啓発を初掲示

6月の土砂災害防止月間中、土砂災害対策の啓発活動として初めて、JR静岡駅の電光掲示板に土砂災害防止施設の効果事例などを掲示し、土砂災害に対する「日頃の備え」と「早めの避難」を呼びかけました。



### 8月豪雨で発生した地すべりで林野庁の災害関連緊急事業が採択

8月14日～17日の豪雨により、諸子沢地区(静岡市葵区)で発生した地すべりに対して、砂防課が所管する林野庁の災害関連緊急地すべり防止事業が採択されました。



### 令和5年は土砂災害が57件発生

令和5年の土砂災害は、台風2号を中心に57件(土石流等3件、地すべり4件、がけ崩れ50件)発生しました。県内の近年10年間の平均件数69件は下回りましたが、複数の大規模な土砂災害が発生しました。

### 番外

逢初川盛り土高15mでの数値解析結果を記者ブリーフィング

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表しておりません。

# 全国治水砂防促進大会及び支部要望活動

11月16日(木)に、全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催されました。全国から、会員(市町村長)や国・都道府県の砂防事業関係者1,600名超が参加され、当支部からは12名の会員が出席されました。

大会は、森山裕会長の挨拶、堂故茂国土交通副大臣の祝辞に続き、草野慎一砂防部長から「「いのち」と「くらし」と「みどり」を守る砂防」と題した講演をいただきました。その後、会員代表として、林裕二福岡県朝倉市長と今井敦長野県茅野市長から意見発表が行われました。次に、新潟県出雲崎町長の小林則幸副会長から大会提言について説明がなされ、満場一致で採択されました。

大会終了後、地元選出国會議員及び国土交通省へ、令和6年度予算確保に向けて要望活動を行いました。

お忙しい中、御出席いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



森山会長の挨拶



堂故国土交通副大臣の祝辞



草野砂防部長の講演



## 静岡県支部の要望

### ○地域住民の生命・財産と県土を守る砂防関係事業への特段の配慮

#### 1. 直轄砂防事業の推進

##### ■重点箇所

- 富士山砂防事業：富士山麓の火山砂防事業と火山噴火に対する防災対策
- 安倍川砂防事業：大谷山腹工、有東木地区砂防堰堤工群 等
- 狩野川砂防事業：松沢川砂防堰堤群、加殿地区砂防堰堤群 等

#### 2. 直轄地すべり対策事業の推進

##### ■重点箇所

- 由比地区地すべり対策事業：深礎杭、排水トンネル等

#### 3. 県による土砂災害防止施設の整備と県・市町によるソフト対策推進への支援・協力

##### ■重点施策

- 社会生活や経済活動を支える地域の基礎的なインフラを集中保全する取組の推進
- 自助・共助を強力に支援するため、地域の防災力を高める警戒避難体制の推進
- 新技術の活用等による既存施設のライフサイクルコストの縮減や老朽化対策の計画的な推進
- 砂防施設整備や管理、防災・災害対応等の砂防事業におけるDXの推進

### ○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」のさらなる推進



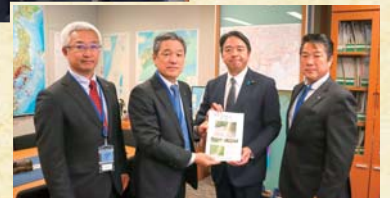
小山衆議院議員への要望活動



細野衆議院議員への要望活動



渡辺衆議院議員への要望活動



榛葉参議院議員への要望活動

## 参加会員

伊豆市、伊東市、磐田市、袋井市、湖西市、森町、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、川根本町、静岡市、浜松市、三島市、富士市、菊川市、伊豆の国市、函南町(19市町/35市町) ※太字は市町長が参加：12名

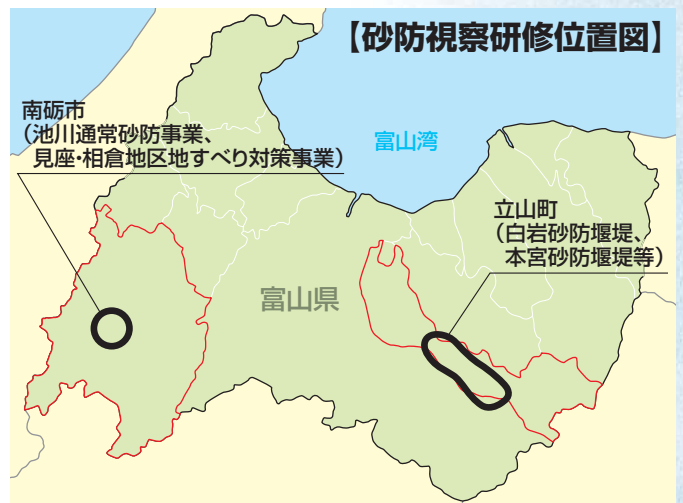
# 富山県の砂防関係事業等を視察

8月24日(木)から26日(土)に、会員(市町長)による砂防関係事業等県外視察として富山県(南砺市、立山町ほか)を訪れました。須藤支部長(富士宮市長)を団長に、市町長が計13名、県の勝又交通基盤部長や土木事務所長、事務局を含め21名が参加しました。

南砺市では、平成20年に時間120mmを超える雨量により、浸水家屋56戸等が生じた池川通常砂防事業と平成7年に世界遺産に登録された「相倉合掌造り集落」内の見座・相倉地区地すべり対策事業の現場を視察しました。見座・相倉地区地すべりは、世界遺産内のため、周囲の合掌造り集落と調和するように集水井工が設置されているのが印象的でした。

立山町では、日本の砂防の原点と言われ、現在も斜面の侵食や土砂流出が著しい立山カルデラ内の砂防施設等を視察しました。立山カルデラ内の砂防対策の礎である日本最大級の高さ63mの白岩砂防堰堤(重要文化財)、日本最大級の約500万 $m^3$ を貯砂することができる「最後の砦」本宮砂防堰堤(重要文化財)、土砂災害のない暮らしを求める人々の思いを込めて「護天涯(天涯を護る)」の文字が刻まれた泥谷砂防堰堤群(重要文化財)など土砂災害から富山平野を護る砂防施設のスケールに圧倒されました。

参加された会員(市町長)からは、「砂防の重要性が一段と理解できた。来年もぜひ参加したい」などの御意見をいただきました。



## 日程

### 8月24日(木) (富山県砂防課)

- 池川通常砂防事業及び見座・相倉地区地すべり対策事業の現場視察

### 8月25日(金) (北陸地方整備局立山砂防事務所)

- 立山砂防事務所管内の砂防事業現場視察(本宮砂防堰堤、白岩砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原平展望台ほか)

### 8月26日(土)

- 立山町等地域活性化施設視察

## 参加市町等

富士宮市、伊豆市、森町、川根本町、小山町、島田市、袋井市、湖西市、牧之原市、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、吉田町(14市町/35市町) ※太字は市町長が参加：13名  
交通基盤部長、富士・浜松土木事務所長、砂防課(事務局)



本宮砂防堰堤(重要文化財)



多枝原平展望台(立山カルデラ内)

## 令和5年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議を開催

10月25日(水)に、東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議を開催しました。

当日は、令和4年度に土石流が発生し、現在災害関連緊急砂防事業を実施している油山川と「砂防ランドスペース創出事業」により、河川の蛇行部をショートカットし創出された土地に、現在はウイスキーの蒸留所が設置されている安倍中河内川を視察しました。参加者からは、砂防事業で土地が創出できる発想が素晴らしいなどの感想が聞かれました。

合同会議は浮月楼(静岡市葵区)で実施し、来賓の国土交通省砂防部蒲原保全課長から『「いのち」と「暮らし」と「みどり」を守る砂防』、(一社)全国治水砂防協会の岡本副会長から「砂防協会と砂防会館」と題した話題提供をいただきました。続いて、各支部の活動が報告され、支部長を含めた熱心な意見交換が行われ、大変有意義な会議となりました。



油山川災害関連緊急砂防事業現場視察



蒲原保全課長挨拶(浮月楼)

## 令和5年度 東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議を開催

11月21日(火)に、東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議が、静岡県熱海総合庁舎(熱海市)で開催され、国土交通省砂防部保全課渡邊補佐をはじめ、中部地方整備局及び管内直轄砂防事務所長、長野県・岐阜県・三重県・愛知県・静岡県の各県砂防主管課長が出席しました。

会議に先立ち実施した現地視察では、令和3年に大規模な土石流が発生した逢初川の中流域で、県熱海土木事務所より被害や復旧の状況について説明を受けました。会議では、砂防部から「砂防行政に関する最近の話題」などの情報提供に加えて、各機関からの提案議題等の討議が熱心に行われました。



逢初川現場視察



提案議題に対する討議



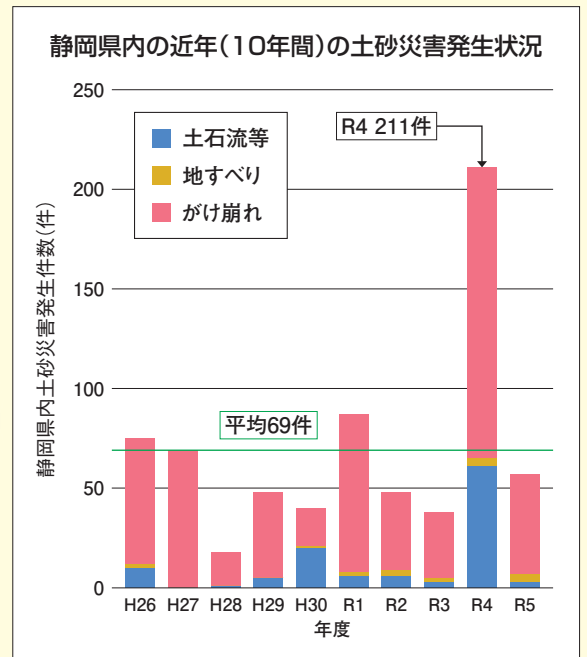
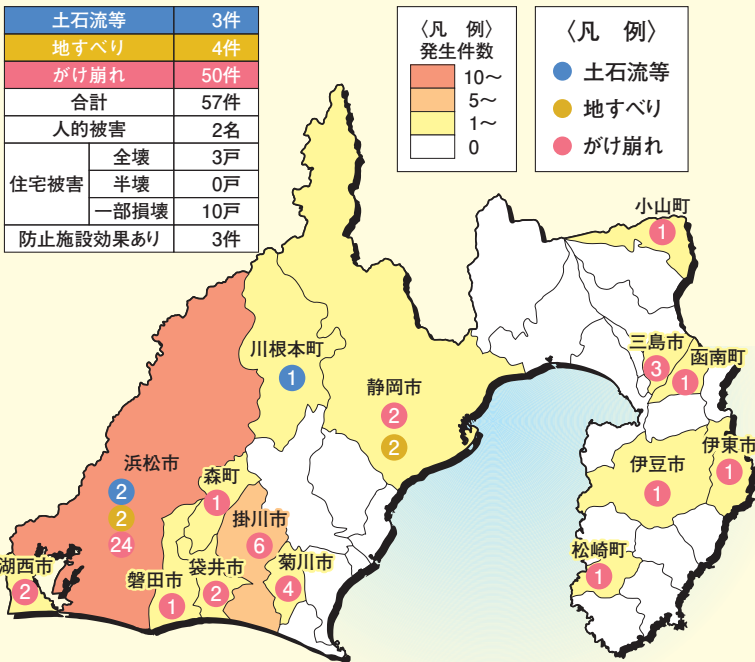
# 令和5年の土砂災害の発生状況

令和5年の県内における土砂災害は、台風2号等の豪雨により、土石流3件、地すべり4件、がけ崩れ50件の計57件となり、県内の近年10年間の平均発生件数69件は下回りましたが、複数の大規模な土砂災害が発生しました。県では、引き続き砂防堰堤等の施設整備を進めていくとともに、県民の皆様に日頃の備えや適切な避難を実行して頂くため、的確な情報提供や土砂災害に関する啓発活動に努めていきます。

## 令和5年 土砂災害の発生状況

種別	年次	令和5年						計
	発生日	5月8日	6月2日 ～6月3日	7月10日	8月16日	8月21日	9月12日	
	原因	降雨	台風2号	降雨	台風7号	降雨	降雨	
土石流等	発生件数	0	3	0	0	0	0	3
地すべり	発生件数	0	3	0	0	1	0	4
がけ崩れ	発生件数	1	46	1	1	0	1	50
計		1	52	1	1	1	1	57
内施設効果あり		0	0	0	0	0	0	0

## 土砂災害発生位置図 ※数字は発生件数



## 土砂災害の発生状況写真



# 令和5年に発生した大規模地すべり

## 諸子沢地区(静岡市葵区)の地すべり

令和5年8月21日に、諸子沢地区(静岡市葵区)において、大規模な地すべりが発生しました。源頭部で崩壊した推定10万㎡の土砂は大久保沢を流下し、下流の一級河川諸子沢川や市道まで土砂が流出する甚大な被害となりました。

市は土石流センサーの設置や避難所を開設し、地すべり下流域の19世帯に避難を呼びかけ、県は諸子沢川の緊急除石を行うなど市と県で緊密に連携し、災害発生直後の緊急対応を実施しました。

地すべり調査や大久保沢内の堆積土砂の撤去については、林野庁で採択された災害関連緊急地すべり防止事業(砂防課所管)の応急申請で実施しており、今後速やかに集水井工などの地すべり対策工事を実施していく予定です。

事業名	箇所名	保全対象	対策内容		採択額	採択日
災害関連緊急地すべり防止事業(林野庁)	大久保沢	人家7戸 市道日向諸子沢線 (一)諸子沢川	応急申請	排土工・調査	333.30百万円	R5.9.29
			本申請	集水井工 横ボーリング工 等	510.57百万円	R5.11.8



大久保沢地すべり全景(諸子沢地区)



諸子沢川土砂流出状況

## 長沢地区(浜松市天竜区)の地すべり対応

令和5年6月2日に長沢地区(浜松市天竜区)で発生した地すべりは、地すべり土塊の崩落に伴う河道閉塞の可能性があったため、市は地すべり周辺の人家に対して、6月7日に避難指示を発令しました。県は地盤伸縮計や監視カメラ等を設置し、市と連携して警戒避難体制を構築するとともに、災害関連緊急地すべり対策事業を応急申請し、応急横ボーリングや応急仮排水路を実施することで、地すべり土塊の崩落の危険性を低減させました。

今後は地すべり恒久対策として、横ボーリング工とアンカー工の施工を予定しており、地域住民の方々の一日も早い安全・安心な暮らしが確保できるよう早急に進めていきます。



長沢地すべり全景



応急横ボーリング工の施工状況



## 御前崎市

御前崎市は、静岡県最南端の岬のまちで、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など自然に恵まれた市です。

市内には、5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的ターミナルを持つ重要港湾御前崎港や、最先端技術を結集した浜岡原子力発電所が立地し、物流、エネルギー基地としての基盤が整っています。

また カツオを始めとする駿河湾の新鮮な魚介類やイチゴや干し芋などの魅力的な特産品が数多くあります。特に御前崎市の温暖な気候により育まれたお茶「つゆひかり」は、爽やかな香りと渋みを抑えたふくよかな味わいが楽しめます。御前崎を訪れた際には一度ご賞味ください。

本市では豊かな自然に恵まれている一方、土砂災害警戒区域が368箇所あることから住民が適切な避難行動をとれるよう、土砂災害ハザードマップを作成し、市民へ周知を図っています。

また、毎年6月の土砂災害防止月間に県と合同で急傾斜地パトロールを実施し、急傾斜崩壊防止施設を点検しています。

今後も住民が安全・安心に暮らせるよう、県をはじめとした関係機関と協力し、土砂災害対策を進めてまいります。



浜岡原子力館



つゆひかり



宮田No2急傾斜地崩壊対策施設(R4災害復旧工事)

## 歴史探訪

## 砂防法制定後の県内砂防事業

前号では、砂防法制定までの道のりや砂防法の根幹である「治水上砂防」の重要性に触れましたが、今号では明治30年の砂防法制定後における県内の砂防事業の実施状況を話題とします。砂防法で補助砂防事業が規定されたため、砂防事業は全国各地で実施されるようになりました。静岡県では明治34年に安倍郡玉川村奥仙俣(現在の静岡市葵区)が砂防設備を要する土地として初めて砂防指定地に指定され、明治35年には全国で15番目に同地区で補助砂防事業に着手しました。当時の資料によると、「工費予算金6千4百24円63銭2厘を以て35年度事業として、砂防工事施工に付国庫補助稟請」とあり、山腹工や石積護岸工を施工しました。明治42年からは石積堰堤を施工し、明治44年には県内第一号堰堤が静岡市葵区の仙俣川で完成しました。

明治43年には関東地方を中心に台風による甚大な被害となったことから、政府は我が国初の治水の長期計画である「第1次治水計画」を策定し、砂防事業も「砂防事業に関する件」として決議されました。

また、大正12年には、関東大震災により、神奈川県や県東部の山間部を中心に激甚な被害となったことから、政府は「震災復旧砂防事業」を立ち上げ、県内では酒匂川水系(静岡県内は鮎沢川)である小山町を中心に砂防堰堤を設置しました。設置から100年近く経過していますが、今も現役で地域の安全・安心に貢献しています。



湯船潭砂防堰堤(小山町:昭和10年竣工)



湯船澤下流砂防堰堤(小山町:昭和5年竣工)

## 東海地区土砂災害防止法担当者会議が開催される

12月8日(金)に、東海地区土砂災害防止法担当者会議が松阪シティホテル(三重県松阪市)で開催されました。

この会議は、土砂災害防止法の適切な運用を図るために、各県の取組や課題等を共有するもので、今年度は主に2巡目の基礎調査の進め方、土砂災害特別警戒区域の見直し方法等について活発な意見交換が行われました。

## 東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議及び 東海地区砂防担当者会議が開催される

10月30日(月)に、東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議が岐阜県庁(岐阜県岐阜市)で、11月30日(木)～12月1日(金)に、東海地区砂防担当者会議が西伊豆町福祉センター(静岡県西伊豆町)で開催されました。

各県の担当者のほか、国土交通省砂防部、中部地方整備局地域河川課の担当者が出席しました。

地すべり・急傾斜地担当者会議では、地域防災計画に位置付けられた避難所を保全対象とした「芥見南山」急傾斜地崩壊危険区域(岐阜市芥見南山地内)を視察した後県庁に移動し意見交換を行いました。砂防担当者会議では、11月30日の会議に続き、12月1日には、令和4年度に土石流が発生し、災害関連緊急砂防事業を実施中の三堂川(西伊豆町)と雲見川(松崎町)のほか、世界遺産である韮山反射炉(伊豆の国市)内で、環境に配慮した砂防護岸を整備した韮山古川を視察しました。

両会議とも各県が抱える技術的な課題や、国からの情報提供として近年の砂防関係事業の動向などをテーマとして、活発な意見交換が行われました。



国、各県の活発な意見交換会(岐阜市内)



砂防堰堤施工中の三堂川(西伊豆町)の現場視察

## ジオフォーラム2023 in 静岡が開催される

11月1日(金)に、静岡県地質調査業協会主催(当支部後援)による「ジオフォーラム2023 in 静岡」が静銀ユーフォニア(静岡市)で開催され、170名を超える参加がありました。

今回は、「次世代に求められるモノ」をテーマに、コンサルタントや県の担当者による6つの技術発表が行われました。また、静岡県デジタル戦略局の杉本直也参事による「デジタルツインによる「まち」づくり」と題した特別講演があり、点群データを「デジタルツイン」の基盤データとして、生産性向上や新たな価値の創造を目指す取組についての紹介がありました。



杉本直也参事による特別講演

## 土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会が開催される

10月24日(火)に、砂防学や気象学の専門家や行政機関で構成する「静岡県土砂災害警戒避難基準雨量検討委員会」を県庁で開催しました。委員長は土屋智静岡大学名誉教授に務めていただき、土砂災害警戒情報の精度向上に向けた土砂災害発生危険基準線(以下、「CL」という)の見直しに関する検討が行われました。

令和2年8月に改訂された「土砂災害防止対策基本指針」でCLの作成単位が細分化されたことや、降雨・土砂災害のデータが蓄積されたことから、1kmメッシュに設定したCLについて審議し、了承をいただきました。

見直したCLは空振り率の減少が見込まれることから、令和6年5月下旬からの運用を目指し、静岡地方气象台と共同で準備を進めていきます。



見直したCLの説明状況



土屋智 静岡大学名誉教授(委員長)の挨拶

## 事業評価監視委員会が開催される

11月13日(月)に、令和5年度第2回静岡県事業評価監視委員会(第1回:9月8日)が県庁で開催されました。砂防関係事業では、再評価で火山砂防事業の「<sup>ほらがわ</sup>洞川」(伊豆市)など全11件(砂防5件、地すべり1件、急傾斜5件)が審議され、「いずれも事業を継続するのが相当である」との意見がとりまとめられました。

また、事後評価では、「<sup>りょうしませ はやし</sup>両島瀬林」(浜松市)が審議され「事業効果は十分に発現、改善措置の必要なし」との意見がとりまとめられました。

<再評価>

事業名	箇所名	所在市町名	採択着工年度	審議結果	完了年度(予定)
通常砂防	上神増沢	磐田市	R1	継続	R6
通常砂防	八津奥沢北沢	静岡市	R1	継続	R10
通常砂防	原東沢	藤枝市	R1	継続	R7
火山砂防	洞川	伊豆市	R1	継続	R9
通常砂防	西上神沢	浜松市	R1	継続	R7
地すべり	口坂本	静岡市	S63	継続	R10
急傾斜地	長岡左近山	伊豆の国市	H26	継続	R6
急傾斜地	谷田押切No.4	三島市	R1	継続	R9
急傾斜地	間門峯山	富士市	R1	継続	R7
急傾斜地	四方沢	静岡市	R1	継続	R9
急傾斜地	坂本	静岡市	H26	継続	R8

<事後評価>

事業名	箇所名	所在市町名	審議結果
急傾斜地	両島瀬林	浜松市	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし

## 令和5年度 安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催される

10月16日(月)に、中部地方整備局静岡河川事務所主催の安倍川大規模土砂災害合同防災訓練に参加しました。

この訓練は、様々な事象により発生する大規模土砂災害(河道閉塞、地すべり、その他同時多発的に発生する土砂災害)に対し、静岡市、静岡県、国土交通省等の防災担当者の災害対応能力向上を目的に、令和4年度より開催しています。

令和5年度は、地震を起因とした大規模土砂災害を対象に、災害時における様々な局面に応じた判断力や関係機関の調整等に関して、高度かつ総合的な対応能力の向上を図りました。

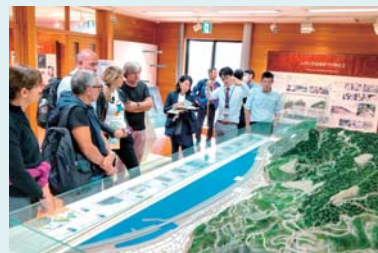


参加機関による大規模災害への対応状況

## 由比地区地すべりで親子県学会の開催及び 由比地すべり管理センターをイタリア人技術者が視察

7月22日(土)に、国土交通省富士砂防事務所により大規模な地すべり対策事業が進められている「由比地区(静岡市清水区)」で現場見学会が開催され、親子11名が地すべり対策工事を学びました。昇降機で坑内へ入っていく表情は緊張していましたが、貴重な体験をしていただきました。

また、11月7日(火)にはイタリアの土砂災害関連の技術者6名が、県の由比地すべり管理センターを訪れました。地すべり対策工や計測機器などの展示施設を説明し、イタリアの技術者からは、「このような地すべり展示施設があること自体が貴重である」などの意見をいただきました。



イタリア人技術者による視察



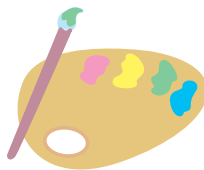
深礎杭工内部の見学

# お知らせコーナー

## 土砂災害防止に関する絵画・作文の応募へのお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学校の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は令和6年3月を予定しています。

### 【応募状況】



部 門	小学生	中学生	計
絵 画	9	5	14
作 文	2	40	42
合 計	11	45	56

## 砂防および地すべり防止講習会のお知らせ

砂防および地すべり対策業務を担当する職員の実務及び関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：令和6年2月15日(木)・16日(金)  
 会 場：砂防会館 別館 シェーンバッハ・サポー利根会議室  
 参 加 費：4,000円  
 主 催：一般社団法人 全国治水砂防協会 TEL (03)3261-8386  
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054)221-3042



## 令和6年 砂防関係の 主な行事



### ●支部活動予定

5月29日(水) 静岡県支部役員会および第79回通常総会(静岡市内)  
 6月1日(土)～7日(金) かけ崩れ防災週間(県内各市町)  
 1日(土)～30日(日) 土砂災害防止月間(県内各市町)  
 1日(土)～30日(日) 急傾斜地パトロール(県内各市町)  
 6月上旬 土砂災害・全国防災訓練(県内各市町)  
 みんなで防ごう土砂災害(青葉シンボルロード)  
 8月下旬 市町長等砂防関係事業県外視察  
 11月上旬 市町等砂防担当職員現場研修  
 11月14日(木) 砂防関係事業促進要望(議員会館等)

### ●協会本部活動予定

2月15日(木)・16日(金) 第64回砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)  
 5月22日(水) 評議員会・参与会(砂防会館)  
 23日(木) 第88回通常総会(砂防会館)  
 10月31日(木)・11月1日(金) 砂防現地視察と討論会(長野県)  
 11月14日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

※赤字は、市町長出席行事

### 【表紙写真】

富士市岩本山公園「梅」(撮影地:富士市)

写真提供: 富士市

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。



## 編 集 ・ 後 ・ 記

敬頌新禧

旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。天高く舞い昇る龍のように、辰年には「運氣上昇」「立身出世」との言い伝えがあり、十二支の中で最も縁起の良い干支と言われています。甲辰でもある2024年は飛躍の年となりますよう万里一空の精神で参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。輝かしい年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。  
 全国治水砂防協会静岡県支部 小杉祐子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/sabo/index.html>



第212号 発行日：令和6年1月1日

編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内  
 TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk\_s@yahoo.co.jp

